

自然からのメッセージを受け取る

Midrist Vol. 7

石川・松任健康の里 細川洋幹さん（石川県白山市）



「+みどり計画」を始動させてすぐ、+みどり計画の応援隊(※)となってくれた方から「紹介したい人がいる。」と教えてもらったのが、石川県白山市にある石川・松任健康の里の代表を務める細川洋幹さんだった。

細川さん自身も農場運営者として自然農法に取り組んでいるが、もっと多くの人々が自然農法や有機農業に触れる機会を増やしていきたいと、近年は北陸3県(富山、石川、福井)の有機農業の普及・指導に力を入れているのだという。自ら農場運営もしているうえに、さらに指導もしているなんて！それは実際に会って話を聞きたくなるじゃないか。ということ、白山市の松任地区に向かった。

石川・松任健康の里に着くと、まず目につくのは野菜の販売所だ。OPENの看板を信じて中をのぞくと、無人。買いたいものの金額を自分で計算して、お金を箱に入れば支払終了、というシステムらしい。これ、盗まれない!?と思っていたら、ビシッと整えられた髪型の男性が顔を出したので、何もしてないのに一瞬緊張する。

細川さんだ。

実は細川さんは、自然農法の普及や研究を行う、一般社団法人MOA自然農法文化事業団の北陸支所長。自然農法については当然、われわれ農政局職員よりずっと詳しい。もう20年以上自然農法に携わっているわけだが、「+みどりの食料システム戦略」や北陸農政局の「+みどり計画」のことをどう見ているのだろうか。実はそこも気になっていた。ひととおり「+みどり計画」を立ち上げた意図を話すと、真剣な顔を聞いていた細川さんが口を開いた。



※「+みどり計画」を一緒に盛り上げてくれるサポーター「+みどり応援隊」をプロジェクトHPで募集している。



「国がみどりの食料システム戦略を策定し、そのあと法律を施行した時、ついに国も有機農業や、自然農法を本気で推進する時代になったんだって思ったんです。そしたら今度は北陸農政局さんが地域に着目した、独自のプロジェクトを立ち上げてくれた。私ね、本当に感動したんです。ずっと有機農業や自然農法の関係者は変わり者と言われて、虫が飛んでくると苦情を言われたり、本当に日の目を見なかったが、この北陸で農政局さんがさらに積極的に広めようしてくれている。全面的に「十みどり計画」の推進に協力したいと思います。できることはなんでもしますよ！」

正直、驚いてしまった。

もちろんこんな風に思ってもらえていることが大変嬉しかったのだが、ずっと前から有機農業や自然農法に取り組んでいた人の中には、「今更なんだ」「この戦略は本当に農家のことを」

考えているのか“と考えるの、いられる方もいたから、こんなに賛同してもらえない。話をするのが楽しすぎて、気づけば4時間以上話し込んでしまった。



石川・松任健康の里では、自然農法で大豆、オクラ、ズッキーニ、玉ねぎ、ナス、トマト、花きを作っているほか、平飼いでニワトリも飼っている。米も作っているが、こちらは地元の幼稚園・小学校の体験ほ場となっている。

自然農法の畑はやはり草が多い。でも、細川さんはこれを「雑草」とは言わない。この「雑草」たちが、作物につく害虫を減らしてくれたり、養分を与えてくれたりする。だから細川さんは雑草ではなく「草」と呼んで活用している。ほかにも、ナスは接ぎ木をすることで、病虫害を回避しながらおいしいナスを作っていたし、田んぼは毎朝熊手でかいて水を濁らせ抑草した結果、効果テキメンだったという。一方で今年のズッキーニはほぼ全滅してしまった。暑さだけが原因なのか、なにか他に要因があったのか、これからそれを考えていく必要がある。せっかく作ったものができないというのが一番切ない、伏し目がちに話してくれた。自然農法では、作物の大きさもまちまちだ。でもそれが、人間と同じだな、人間も自然の一部だもん、なんて普段思わないことを思わせてくれるし、細川さんも、事務所でお話を伺っていた時より、ほ場にいる方がずっと楽しそうだった。これも自然の力なのかもしれない。

細川さんにとって自然農法とは、たんに農薬や化学肥料を使わない「農法」というだけでなく、自然の力や自然からのメッセージを聞ける媒体なのだという。そのメッセージを聞ける人が増えれば、きっと地球環境はよくなるのではないか。そんな想いを





話してくれました。
なお、細川さんには、+みどり計画の一環で開催している「地域の環境と食 未来セミナー」の第2回講師となってもらっているの、細川さんの今までの取組や思いなどはセミナーアーカイブ(+みどり計画HPに掲載)を見ていただいた方がよく分かると思う。ほかにもセミナーでは、土の持つ力や引き出し方、「雑草」と言われる草々の活用方法、などの営農技術について、実際にほ場も見せていただきながら話してもらっており、有機農業に関心がある方、始めてみたいと思う方に



石川・松任健康の里では、月に1回「野菜の日」という大規模な野菜の販売日がある。インスタグラムで開催日をチェックして、ぜひ一度行ってみたい。自然農法や有機栽培で作られたいろいろな野菜や、そうした野菜などを使って作られた加工食品を手に取り、味わってみることで、普段とは違うなかを自分の中に見つけられるよ

農法に目を向ける必要性も説いてくれた。
慣行農法は必要だと話す。でも、これから先の環境を考えると、有機農業や自然

まず聞いていただきたい内容になっている。

DATA【石川・松任健康の里】

農法：自然農法

品目：大豆、オクラ、ズッキーニ、玉ねぎ、トマト、ナス、小松菜、チンゲン菜、カブ、ブロッコリー、カリフラワー、花き、鶏卵 等

【直売所】

石川県白山市徳光町3839-2

営業時間 10:00~16:00

※休営業日は石川・松任健康の里のInstagramよりご確認ください。



Instagram:
@kenko_nosato



うな気がする。あとは、松任健康の里に居座ることになった元野良猫の「にゃん」や、ニワトリ小屋の隣にあるウサギたちに餌を食わせて、現代社会で知らず知らずのうちに蓄積された疲れを癒しに行く、というのもありかもしれない。



Writer: 首藤